

LECIP 平成26年3月期 GROUP 報告書 第62期

平成25年4月1日～平成26年3月31日

レシップホールディングス株式会社 証券コード：7213





代表取締役社長
杉本 眞

おかげさまで 東証一部・名証一部銘柄に指定されました。

ご挨拶

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、当社グループの平成26年3月期の事業概況についてご報告いたします。

平成26年6月

当期の業績についてご説明ください。

3期連続の増収、4期ぶりの減益

当連結会計年度におけるわが国経済は、現政権主導の経済政策（アベノミクス）への期待感を背景に、個人消費はようやく上向きの傾向を示し、また企業の設備投資に関しても様々な分野への広がりを見せるなど、国内景気は本格的な回復局面に入っております。

このような状況のなか、当社におきましては、平成25年4月からスタートいたしました中期3ヵ年計画「+1=2015」の重点課題である「TMS事業をAFC事業と並ぶ二つ目の柱にする」「次世代機器・システムの商品企画と拡販」「海外パートナーシップの強化と戦略商品の創造」「国内外でのLED商品の拡販」「プロセス改善によるQCDの向上」の5つの課題に向けた取り組みに注力し、連結売上高につきましては3期連続の増収、経常利益につきましては4期ぶりの減益となりました。

次期の見通しはいかがですか。

大幅な増収、小幅な増益の見通し

平成27年3月期は、輸送機器事業において、国内・海外それぞれのバス市場向けで、複数の自動運賃収受システムの大型案件の納入を控えていることから大幅な増収が見込まれること、また産業機器事業においても通信基地局向け無停電電源装置の大型案件の納入を控えていることから、こちらも大幅な増収を見込んでおります。損益面につきましては、増収効果はあるものの、輸送機器事業において北米での案件を完遂するため、更なる投資が必要であることなどから、小幅な増益の見通しとなっております。

以上のことから、平成27年3月期の連結業績予想につきましては、売上高が前期比37.8%増の200億円、営業利益は48.8%増の5億円、経常利益は43.3%増の5億円、当期純利益は181.7%増の2億円を見込んでおります。

● 特別配当を実施します。

平成26年3月期の配当金につきましては、当初発表の15円に、東証・名証一部指定の記念として特別配当2円を加え、17円に増配させていただきます。

また平成27年3月期につきましては、1株当たり8.5円を予定させていただきます。当社は、平成26年3月31日を基準日として、1対2の株式分割を実施しました。分割前の1株当たり配当金に換算しますと、前年と同様の17円に相当します。

当社におきましては、株主の皆様に対する還元を重要な課題のひとつとして位置づけており、財務体質の強化にも意を用いながら、継続的かつ安定的な利益還元を努めてまいりたいと考えております。



中期経営計画の進捗について、お聞かせください。

海外ビジネスの更なる拡大

現在の中期経営計画では、平成28年3月期に、売上高200億円、経常利益12億円、また海外売上比率を20%にまで高めることを目標としております。

中期経営計画の1年目である当期の実績として、海外展開に関しては、北米市場において自動運賃収受システムの納入をスタートしましたほか、その他の市場においても売上の積み上げを行いましたことにより、海外売上比率は、平成25年3月期の3.0%から7.1%と大幅に上昇しました。また、もう一つの成長ドライバーであるTMS（運行管理システム）につきましても、出資会社のあるスロベニアにて開発を進め、シンガポール及び国内で納入実績を積み上げることができました。

こうした1年目の活動をベースに、中期2年目である次期においては、引き続き、海外ビジネスの更なる拡大とTMS（運行管理システム）の国内外での拡販に注力してまいります。

株主の皆様へメッセージをお願いします。

皆様のご支援・ご高配に感謝申し上げます

当社は、平成17年12月にジャスダックに上場し、平成19年12月に東京証券取引所市場・名古屋証券取引所市場第二部へ上場しました。そしてこのたび、平成26年2月12日に同市場第一部銘柄に指定されました。これもひとえに、皆様の温かいご支援、ご高配の賜物であり、ここに厚く御礼申し上げます。

レシップグループは、快適な日常を実現するという経営理念のもと、バス・鉄道・自動車市場及び、産業機器市場にて事業を展開しています。

今後も更なる業容の拡大と企業価値の向上を目指し、株主の皆様をはじめ多くの関係者の方々の期待にお応えすべく尽力してまいりますので、引き続きご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

営業概況

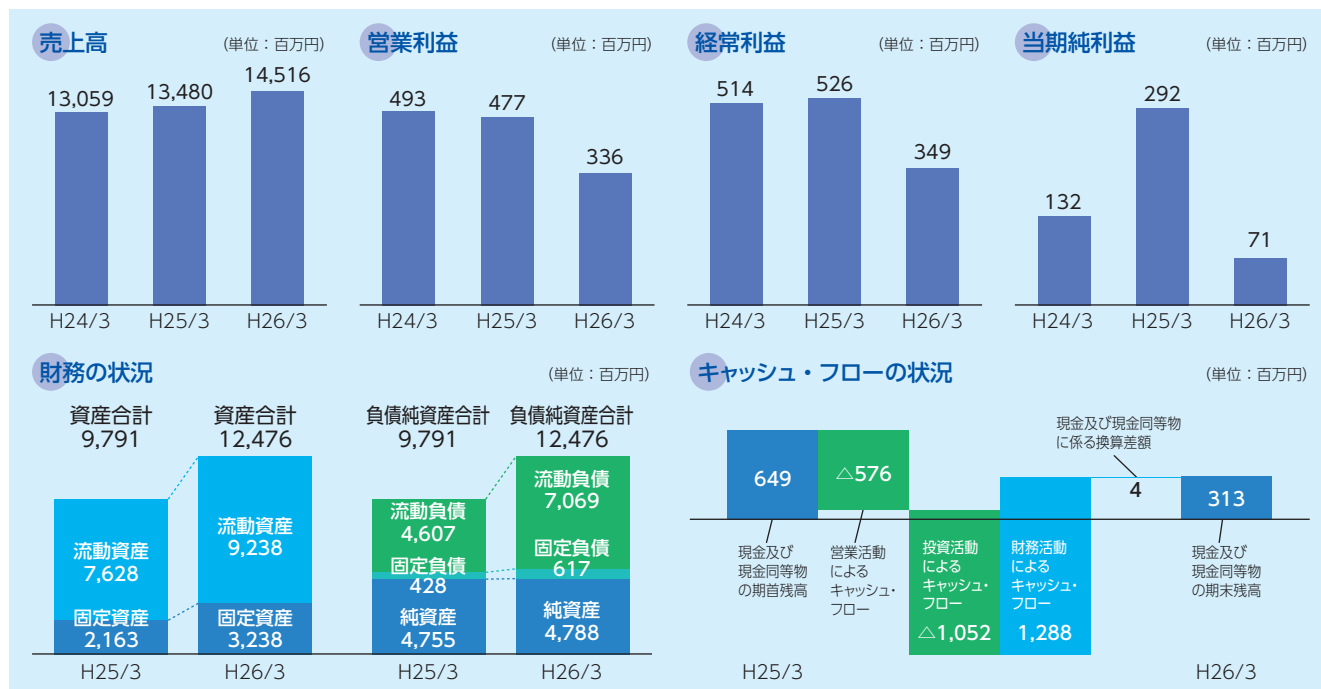
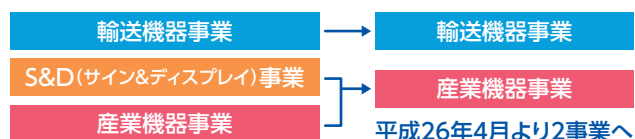
平成26年3月期の連結売上高につきましては、主に海外での売上が大幅な増収となりましたほか、産業機器事業においても堅調に推移したことにより、増収となりました。一方、損益面につきましては、海外ビジネスの拡大に向けた先行投資や、運行管理システムなどの開発費の増加が、当期間における利益の圧迫要因となりました。

この結果、売上高は前期比7.7%増の145億16百万円、営業利益は29.5%減の3億36百万円、経常利益は33.7%減の3億49百万円、当期純利益は75.6%減の71百万円となり、売上高につきましては3期連続の増収、経常利益は4期ぶりの減益となりました。

また当期純利益につきましては、主に海外子会社及び国内の海外統括会社における繰延税金資産の回収可能性を

きわめて保守的に検討した結果、現時点においては税金資産の計上を見送る判断をいたしましたことにより、グループ全体における実効税率が上昇し、当期純利益の減少につながりました。

なお、S&D事業を、方針変更により、サイン・照明分野から産業機器分野を中心とした製品づくりへとシフトしていくことにより、セグメント分類の見直しを図りました。平成27年3月期第1四半期決算より、S&D事業を産業機器事業に含めて開示します。



Business Segment Overview 事業別営業の概況



輸送機器事業

路線バスや鉄道用のワンマンシステム機器をトータルに提供し、乗客の利便性向上をサポートしています。また、バス・鉄道・トラック・乗用車に搭載される室内用・荷室用照明機器の製造・販売も行っています。



●主な製品

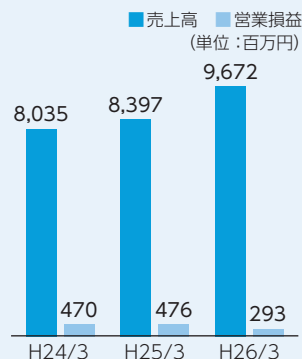
バス・鉄道用ICカードシステム、運賃箱、整理券発行器、OBC-VISION (液晶表示器)、LED式行先表示器、デジタル運賃表示器、バス・鉄道・トラック・乗用車の室内用・荷室用照明機器



●当期の営業概況

北米やシンガポールなどの海外市場において、自動運賃収受システムや運行管理システムの納入が進みましたほか、国内においても、OBC-VISIONの拡販や消費増税による特需の上積みがあり、増収となりました。

売上高構成比
66.6%



S&D (サイン&ディスプレイ) 事業

長年のノウハウの蓄積により、表示照明に係わる各種電源機器及び燃焼器具用変圧器等の高電圧製品を提供しています。



●主な製品

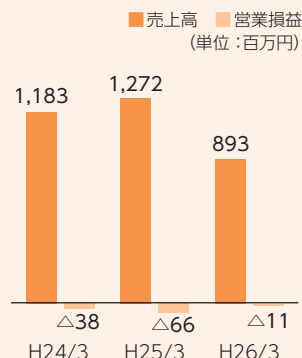
LED電源、直管型LEDランプ、屋外蛍光灯看板用電子安定器、ネオン変圧器 (巻線式・電子式)、燃焼器具用変圧器



●当期の営業概況

前期まで販売を拡張していたLED電源に関して、当期よりターゲット市場を主に屋外向け特殊照明市場に絞ったことにより減収となりましたが、利益面ではその方針転換により採算性が改善され、赤字幅が圧縮されました。

売上高構成比
6.2%



産業機器事業

インバータ技術をベースに産業用電源関連機器を提供するほか、子会社レシップ電子(株)において、自動車用電装品、産業機器関連の各種プリント基板実装事業を行っています。



●主な製品

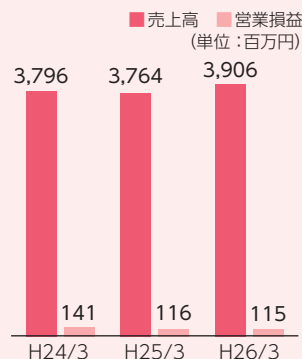
バッテリー式フォークリフト用充電器、無停電電源装置、プリント基板の実装事業



●当期の営業概況

PHS基地局向け電源やプリント基板実装を中心とするEMS事業が増収となりましたが、物販用ICカード読み取り端末やケーブルテレビ用無停電電源装置の売上が好調に推移したことにより、増収となりました。

売上高構成比
26.9%



平成25年

4月 国内2件目となるバスロケーションシステムを落札

レシップ株式会社は、名古屋市交通局様より、GPS を用いてバスの位置情報を管理するバスロケーションシステムを落札しました。平成 24 年 6 月にバスロケーションシステムの分野に参入し、国内では2件目の案件となります。平成 26 年 3 月、現行のバスロケーションシステムのサービスを再構築するとともに、地震災害に備え、新たに気象庁の緊急地震速報システムを導入しました。



10月 タイに新会社を設立

レシップホールディングス株式会社は、タイのバンコクに LECIP THAI Co., Ltd. を設立しました。日系メーカーが多数参入しているタイにて、トラック用 LED 灯具やバッテリー式フォークリフト用充電器、バス用電装機器などを販売していきます。



10月 SITCE2013 に出展

レシップグループは、シンガポールで開催された SITCE2013 に出展しました。SITCE2013 は、国際公共交通協会が主催し、世界各国の公共交通機関の事業者やシステム会社が多数集結する大規模な展示会です。今後も、国際的な展示会への出展を重ね、シンガポールをはじめとして、世界各国の業界関係者にレシップグループの事業をアピールしてまいります。



12月 米国クラーク郡交通局より 路線バス用運賃收受システムを受注

米国子会社 LECIP INC. は、クラーク郡交通局様より路線バス用運賃收受システムを受注しました。クラーク郡交通局様は 1981 年に設立され、ワシントン州クラーク郡を中心として約 30 路線、約 100 台のバスを運行しています。現在は、平成 27 年 3 月期中の納入に向け、路線バス用の運賃箱や乗客情報管理システムを開発しています。



会社概要

商号 レシップホールディングス株式会社
(英文社名: LECIP HOLDINGS CORPORATION)

所在地 〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260番地の2
TEL.058-324-3121 FAX.058-323-2597

設立 昭和28年3月

資本金 7億3,564万円

従業員 連結478名

上場取引所 東京証券取引所市場第一部
名古屋証券取引所市場第一部

役員

(平成26年6月20日現在)

代表取締役社長 杉本 眞

専務取締役 山口 芳典

取締役 長野 晴夫

取締役 杉戸 庸晃

取締役(非常勤) 杉山 涼子 (社外取締役)

常勤監査役 河村 富男 (社外監査役)

監査役 中川 彰

監査役 内木 一博 (社外監査役)

監査役 中島 宜隆 (社外監査役)

レシップグループ

(※は連結対象会社)

レシップ株式会社※

レシップエスエルピー株式会社※

レシップ電子株式会社※

レシップインターナショナル株式会社※

レシップエンジニアリング株式会社※

LECIP INC. (米国)※

LECIP (SINGAPORE) PTE LTD (シンガポール)※

LECIP ITS d.o.o. (スロベニア)

LECIP ARCONTIA AB (スウェーデン)※

LECIP THAI Co., Ltd. (タイ)

岐阜DS管理株式会社

レシップ産業株式会社

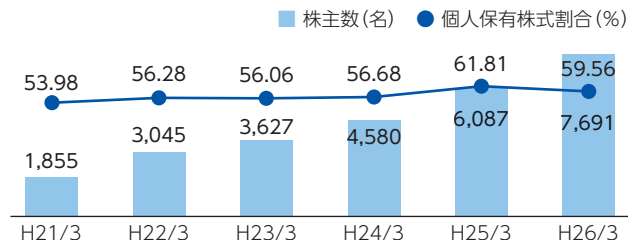
株式の状況

発行可能株式総数 22,000,000株

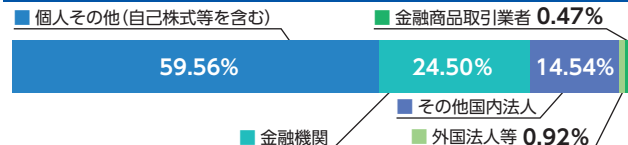
発行済株式総数 6,399,100株

株主数 7,691名

株主数推移



所有者別株式数分布



大株主

	持株数(株)	持株比率(%)
レシップ社員持株会	544,020	8.83
名古屋中小企業投資育成株式会社	468,240	7.60
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (株式付与ESOP信託口)	306,100	4.97
株式会社十六銀行	280,000	4.54
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (従業員持株ESOP信託口)	193,800	3.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (役員報酬BIP信託口)	192,100	3.12
杉本 眞	191,970	3.11
朝日火災海上保険株式会社	150,000	2.43
レシップ取引先持株会	145,000	2.35
日本生命保険相互会社	130,000	2.11

注: 持株比率は自己株式(242,910株)を控除して計算しております。

株主優待制度のお知らせ

対象株主 当社株式を200株（2単元）以上保有されている株主様を対象といたします。（基準日：毎年9月末日）

優待内容 当社本社所在地（岐阜県本巣市）の特産品である富有柿（進物用：1箱、2,000円相当）を贈呈いたします。

贈呈の時期 基準日現在で、当社株式を3年以上保有している長期保有株主様には、2,800円相当の富有柿1箱を贈呈いたします。

贈呈の時期 毎年11月下旬より順次発送を予定しております。



株主優待贈答品について

「天下を治める」という意味の「富有」と名付けられ、柿の王様と称される甘柿の代表種です。橙紅色で丸みのある大果で、渋みの全く残らない完全甘柿です。岐阜県が発祥の地といわれています。

IR担当より

毎年、株主優待品を楽しみにしていただき、ありがとうございます。株主の皆様へ最良の品質のものをお届けするため、収穫状況や入荷量を確認しながら順次発送しておりますので、ご理解いただけますようお願いいたします。

IR広場

株式分割を実施しました。

当社は、平成26年3月31日を基準日として、同日の株主名簿に記載または記録された株主の皆様の所有する普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割しました。

【例】株式分割前の保有株式数：100株→株式分割後の保有株式数：200株

なお、平成26年度の株主優待品につきましては、平成26年9月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、所有株式数200株（2単元）以上の株主様に贈呈いたします。

お問い合わせ先

レシップホールディングス株式会社

管理本部 人事総務部

〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260番地の2

TEL.058-324-3121 FAX.058-323-2597 URL <http://www.lecip.co.jp/hd/>

株主メモ

事業年度

4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主確定日

3月31日

中間配当金受領株主確定日

9月30日

定時株主総会

毎年6月

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
Tel. 0120-232-711（通話料無料）

公告の方法

電子公告により行う。

公告掲載URL <http://www.lecip.co.jp/hd/>

（ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



この報告書は適切に管理された森林から生まれた
「FSC®認証紙」及び「植物油インキ」を使用しています。